



ご挨拶

フットボールファミリーの皆さまへ

平素より北海道サッカー協会の活動に対し、ご協力とご理解を賜りますことに心より感謝申し上げます。この度、2024年度HKFA要覧が完成致しましたので、ご報告申し上げます。

JFAの2005年宣言では“サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する”とあります。ここに私たちの事業や活動が繋がっており、幅広い種別と年代層がフットボールを楽しみ、身近にすることで、心身の健全な成長を促し、強化とともにフェアプレイと相手を思いやるリスペクトの精神が向上することで、豊かな人間性を涵養していくものと考えております。

特に2023年度には札幌ドーム様と北海道コンサドーレ札幌様のご協力をいただき、全国高等学校サッカー選手権大会北海道大会決勝の札幌ドーム開催に至り、多くの観客をお迎えし成功裡に終わることができました。初めて道東圏の帯広市で開催された、フットサル国際親善試合日本代表戦ではチケットが完売し、道内フットサルは大いに盛り上がりを見せました。

また、新型コロナウイルス感染症が2023年5月に第5類に移行されたことで、日常が正常化し国内景気の回復傾向に合わせ本協会主催事業においても、徐々に参加者が増加し活気を取り戻しつつあります。

このように2023年度に計画しておりました事業が停滞することなく無事に終了することができましたのは、皆さまのフットボールを続けたいという熱意が協会を支え、動かしてくれた結果であります。あらためてフットボールファミリーの熱い情熱に感謝申し上げます。

2024年5月には当協会の表彰式を執り行い、永年にわたり、北海道フットボールの発展に寄与、貢献された個人に、そして、2023年度の事業において、国際的または全国的な競技会で優秀な成績を収めた個人、団体に対し、敬意と謝意を表し、協会賞及び奨励賞を贈呈致しました。受賞された皆さまの今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

人口の減少が問題とされるなか、当協会は今後もグラスルーツ(草の根)活動を充実させ、より多くの皆様がフットボールに親しみ、関わる人を増加させる取り組みに力を入れることが重要であると考えております。

今後も北海道のフットボールファミリーが明るく元気になるような施策を考え、実行してまいりますので、今後とも一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人北海道サッカー協会
会長 越山賢一